

1 交通事故の発生状況（令和3年10月末現在【暫定値】）

(1) 神奈川県内の発生状況

	発生件数	死者数	負傷者数	子供（件数）	高齢者（件数）
令和3年	17,438	112	20,198	1,233	5,797
令和2年	16,462	113	19,120	1,131	5,515
増減	+976	-1	+1,078	+102	+282
増減率	+6.0%	-0.9%	+5.6%	+9.0%	+5.1%

(2) 港北区内の発生状況

	発生件数	死者数	負傷者数	子供（件数）	高齢者（件数）
令和3年	402	1	452	30	116
令和2年	438	4	474	24	124
増減	-36	-3	-22	+6	-8
増減率	-8.2%	-75%	-4.6%	+25%	-6.5%

2 港北区の事故の特徴  
別添資料のとおり

3 港北警察署からの連絡

「高齢者の交通事故を防止するために」

(1) 運転者が注意すべきこと

ア 横断歩道や自転車横断帯のない場所でも、歩行者や自転車が横断することがあるので注意しましょう。

イ 高齢歩行者の事故は、車の直前直後を横断しているときに多く発生していますので、前方の安全を確認しながら運転しましょう。

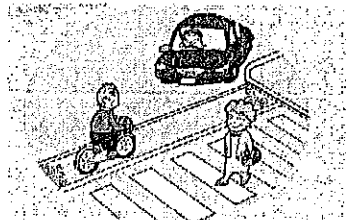
ウ 夜間は、歩行者などの発見が遅れたり、速度感覚が鈍ったりするので、昼間より速度を落として視線を先の方向に向けて慎重に運転しましょう。

(2) 高齢歩行者が注意すること

ア 道路の斜め横断は、横断距離や時間が長くなるのでやめましょう。

イ 歩行速度の低下など身体機能の低下を自覚しましょう。

ウ 道路を横断するときは、必ず横断歩道等を使い、左右をよく見て車が近づいていないかを確認しましょう。



※ 毎年、11月から12月は午後5時頃の交通事故が多く発生しますので、交通事故防止に努めましょう。

別添

## 港北区の事故の特徴

町名	件数	事故類型				
		追突	右左折時	出会い頭	道路横断中	その他
下田町	5		20%	40%		40%
仲手原	2		50%		50%	
北新横浜	4	75%				25%
大倉山	15	13%	27%	7%	13%	40%
大曾根	4		25%	25%	25%	25%
大曾根台	1				100%	
大豆戸町	20	20%	30%	15%	5%	30%
富士塚	3					100%
小机町	34	41%	26%	3%	9%	21%
岸根町	10	60%	20%	10%		10%
師岡町	12	25%	17%	8%		50%
新吉田東	18	11%	11%	22%	11%	44%
新吉田町	9	11%	33%	11%		44%
新横浜	28	32%	18%	11%	7%	32%
新羽町	23	13%	26%	4%	22%	35%
日吉	20	10%	25%	20%	20%	25%
日吉本町	20		20%	15%	15%	50%
樽町	25	20%	20%	4%	8%	48%
箕輪町	13	8%		38%	15%	38%
篠原北	1					100%
篠原東	2				50%	50%
篠原町	11		18%	18%	9%	55%
篠原西町	2					100%
綱島上町	1					100%
綱島東	16	19%	25%	6%	19%	31%
綱島西	18		17%	33%	11%	39%
菊名	24	29%	21%		8%	42%
高田東	12	42%	17%	8%	8%	25%
高田町	7	14%		43%		43%
高田西	13	23%	8%	8%	15%	46%
烏山町	29	28%	34%	10%	3%	24%

※ 小数点以下は四捨五入のため合計が100%にならない場合があります。

※ 事故が発生していない町名は記載していません。

※ 網掛け数字は、各地区内で最も多い事故類型になります。

### 1 管内の事故多発主要路線

主要幹線道路である、環状2号線、綱島街道、横浜上麻生線、荏田綱島線において、年間を通して事故が多発しています。

その他、住宅街の交差点等も注意が必要です。

### 2 10月中の港北署管内における人身交通事故の特徴

(1) 10月中は、自転車の関係する事故が前月に比べ2倍以上発生しています。

(2) バイクの関係する事故が、県内、管内ともに増加傾向です。

(3) 週末にかけて事故が増加傾向にあります。